

航空連合NEWS

発行：航空連合／発行人：内藤 晃 〒144-0041 東京都大田区羽田空港1-6-5 第5綜合ビル5階 TEL (03) 5708-7161 FAX (03) 5708-7163

航空・観光産業の職場の声を国土交通大臣に提言！

～検査とあわせた旅行需要喚起・ワクチン優先接種～

3月10日（水）、衆議院国土交通委員会で、航空連合政策議員フォーラム副会長の玉木 雄一郎（たまき ゆういちろう）衆議院議員が、航空連合の課題認識をふまえ、Go To トラベル事業の再開へ向けた検査体制の強化や、国際線乗務員へのワクチンの優先接種について国土交通大臣に直接提言しました。



玉木 雄一郎（衆）
航空連合政策議員
フォーラム副会長

【Go To トラベル事業再開へ向けた検査体制の強化】

- 飛行機での移動そのものでは感染は拡大しないと考えており、専門家の判断を仰ぎながら、いかに安全に経済を回すかを考えるべき。
- ステージ1 又は2 相当の地域から Go To トラベルを再開していき、検査と組み合わせて感染拡大防止策と経済を回すことを両立させていくことが、航空業界を支えるためにも必要である。
- そのためには、抗原検査を活用することで、短時間でチェックし、政府は「観光の再生」と「検査の拡充」をセットで進めるべきである。

【国際線乗務員への検査強化・ワクチン優先接種】

- 変異株の問題もあり、国際線乗務員の検査は国が費用を負担し、ワクチン接種の優先順位も高めるべきである。

【Go To トラベル事業再開へ向けた検査体制の強化】

- 現場では感染拡大防止策を十分に取っていただいていると認識しているが、国民全体が不安を抱えている状況で観光を推進するのは好ましくない。
- 国民が安心して観光を楽しめる環境をつくるのが非常に重要であり、抗原検査の利用も含めて様々な角度から検討していく。

【国際線乗務員への検査強化・ワクチン優先接種】

- 公共交通に従事する方への優先接種について政府内でも議論したが、今回は国民に対し、短期間で受けていただくことを目指しているなか、実施主体が市町村であり、優先業種の選別が現場では困難だという課題がある。
- 一方、国際線の乗務員は、特別な配慮をすべきではないかという意見もあり、継続して検討していく。



赤羽 一嘉
国土交通大臣